

事務事業評価シート(平成23年度実績分)

(1) 事務事業の名称・位置づけ【Plan1】

事務事業コード	事務事業名	担当課	担当係名	所属長(課長等)名	担当者係長名
61411	広報たつの発行事業	まちづくり政策課	情報通信係	一ノ瀬 元広	米山奈緒美
		一次評価年月日	平成 24 年 5 月 29 日	連絡先(内線)	2621
事務事業実施の根拠・位置づけ	予算における位置づけ (会計区分・事業コード・事業名)	<input type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 特別 <input type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 特別	0202	事業名(歳出予算見積書)	
	第五次総合計画前期基本計画の施策体系における位置づけ	章 (コード選択)	6章	文書広報事務	
		節 (コード選択)	1節	#N/A	
		項[基本施策] (コード選択)	4項	参加と交流のまちづくり	
		目[主な施策] (コード選択)	1目	協働のまちづくりの推進	
	関連する計画等への位置づけ	<input type="checkbox"/> 第五次行財政改革大綱 <input type="checkbox"/> 3ヶ年実施計画 <input type="checkbox"/> 主要業務報告 <input type="checkbox"/> その他	協働のまちづくりのための情報提供		
事務期間	(開始) 47 年度 ~ (終了予定) 年度	<input type="checkbox"/> 開始時期不明 <input type="checkbox"/> 終期設定なし			

(2) 事務事業の内容(目的と手段を把握します。【Plan2】

①対象(〜に対して)……この事務事業はどんな人(誰・何)を対象に行っていますか。

町民及び町に関心のある方

②目的(意図)(〜という状態にするために)……この事務事業のサービスを提供することによって対象をどういう状態にしたいのですか。

町から情報提供を行い、より多くの町民が町政の情報を知り、町政へ参加していただく判断材料としていただく。

③手段(事業内容)(〜を行う)……上記①の対象に対して、どのような手段で②の目的(意図)を達成するか、事業の実施内容(サービスの概要)を記入します。

1	毎月1回、広報誌を作成し、区を通じて町民に配布する。
2	辰野病院等の公共施設及びコンビニ等の民間施設にも設置し、区を通じて届かない方にも情報提供できるようにする。
3	
4	

(3) 活動指標の設定と推移……(2)の③サービスの概要(手段)の指標を表します。【Do1】

区分	単位	実績値		計画値		最終目標年度		
		22年度	23年度	27年度(見込み)	達成率	27年度(見込み)	年度(見込み)	
①	指標名	広報たつの発行回数		12	12	12	1.00	12
	説明	1回/月の発行		目標値設定の根拠 できる限り新しい行政、地域の情報を毎回提供する。				
②	指標名	役場以外の広報設置箇所		15	15	15	1.00	15
	説明	コンビニ、病院等に配置		目標値設定の根拠 当年度の実績値から見込む。(実績 コンビニ4、病院他10)				

(4) 成果指標の設定と推移……(2)の②目標(意図)の達成度を指標で表します。【Do2】

区分	単位	実績値		計画値		最終目標年度		
		22年度	23年度	27年度(見込み)	達成率	27年度(見込み)	年度(見込み)	
①	指標名	広報たつの配布率		92	92	96	0.96	96
	説明	広報たつの配布数/町内世帯数		目標値設定の根拠 過去の実績から(実績7048部/7674)				
②	指標名					#DIV/0!		0
	説明			目標値設定の根拠				

(5) 総事業費(コスト)の推移【Do3】

※事業費の算定方法 決算書・予算書等に記載の数字 按分計算による算定

○総事業費(コスト概算) =①+②	(千円)	平成22年度決算	平成23年度決算	平成24年度見込み		
		9,013	9,018	9,150		
対前年比	%		100.1	101.5		
A)その他の財源(国庫支出金・県支出金・地方債・分担金・使用料・雑収入など)		0	0	0		
B)一般財源(税金)		9,013	9,018	9,150		
①事業費	(千円)	2,299	2,505	2,802		
対前年比	%		109	111.9		
②人件費の概算	(千円)	6,714	6,513	6,348		
対前年比	%		97	97.5		
		年間人件費	年間人件費	年間人件費		
		課長	課長補佐	係長	一般職員	延べ人数
		H22 H23 H24	H22 H23 H24	H22 H23 H24	H22 H23 H24	H22 H23 H24
町職員(正規職員)		0.00 0.00 0.00	0.00 0.00 0.00	0.80 0.80 0.80	0.00 0.00 0.00	0.80 0.80 0.80
臨時職員		人数及び人件費の算出は別シートで計算となっています。(人件費計算式)シート				
		0	0	0		

指標化

(6) 項目別評価 [Check]

視点	項目別評価	判定	評価結果
必要性	1. 事業のニーズに変化はありますか	B	A 増加傾向にある B 変化していない C 減少傾向にある D かなり減少している
	2. 町(行政)が関与する必要性がありますか	A	A 町が主体となる必要がある B 町以外の主体で実施できるが町の関与は必要 C 町も関与するが関与の度合いを縮小できる D 町の関与のあり方を再検討する
目的妥当性	3. 対象の設定は妥当ですか	A	A 対象は現在の設定が妥当である B 対象の変更の余地がある →
	4. 目的(意図)の設定は妥当ですか	A	A 目的(意図)は明確で上位の施策に合致している B 目的(意図)は上位の施策に合致していない点がある →
有効性	5. 期待された成果は得られましたか(成果指標の目標値への達成度)	C	A 期待したとおりの成果があった B 概ね期待したとおりの成果があった C 期待したほどの成果が得られなかった → D 成果が少なく今後も向上する見込みがない →
	6. 連携可能な事務事業はありますか(町以外の取り組みも含めて)	A	A すでに実施している B 今後は可能性がある → C 今後も可能性はない
効率性	7. 成果を下げずにコスト(事業費・人件費)を削減できますか	B	A 余地なし B 当面は余地なし C 一部余地あり → D かなり余地あり →
	8. 受益者負担は適切ですか	B	A 検討の余地なし B 当面検討の余地なし C 一部検討の余地あり → D かなり検討の余地あり →
その他	9. 現在の事業内容(サービス)に対して、対象の声やニーズを把握していますか	A	A アンケートなど具体的な方法で把握している B 日常業務の中で把握している → C 把握していない

(7) 改革改善 [Action]

今後の方向性(上記評価結果をもとに今後の方向性を記入します。) を一つチェックしてください。

- ア. 現状のまま継続する イ. 見直しのうえで継続する ウ. 終期設定 エ. 廃止 オ. 休止

〈今後の展開方針〉(イを選択した場合のみ を一つチェックしてください)

- a 重点化する(コストを集中的に投入する等)
 b やり方を改善する(実施主体や実施の手段を変える)
 c 効率化を図る(コストを下げる)
 d 縮小する(簡素化する)
 e その他(別事務事業に統合する等)

(ウ・エ・オを選択した場合のみ記入してください)

時期(年度)

事業改善の経過

(前年度で記入した事業の方向性の具体化内容についての評価やこれまでに事業改善をした経過を記入します。)

広報企画委員会を開催し、町民の意見を聞かせていただいた。

事業の方向性の具体化

(誰が、何を、いつまでに、どうするか(5W1H)等の改革改善案を記入します。)

広報企画委員会が出された意見、字の見やすさ、記事のレイアウトなどを反映していく。

24年度予算見積書への反映 あり なし

[反映内容]

広報企画委員会委員報酬 印刷製本費

(8) 所属長 所見 (事務事業の総合評価及び今後の方向性について)

(評価事務事業の責任者の意見として、総合的な評価に関する所見を記入します。)

常に読まれる広報誌、親しまれる広報誌を基本に更なる工夫をまいります。

上位の施策の推進に貢献していますか。 をチェック

- A. 貢献度 大 D. 上位施策なし
 B. 貢献度 中
 C. 貢献度 小

(今後の方向性 を一つチェックしてください。)

- ア. 現状維持 イ. 見直しのうえで継続する ウ. 終期設定 エ. 廃止 オ. 休止



b 上記 a~e を選択